

令和6年第10回東海市教育委員会定例会議事録

1 開催日時 令和6年10月25日（金）
開会 午後1時30分
閉会 午後2時

2 開催場所 603会議室

3 出席者
教 育 長 鈴 村 俊 二
委 員 村 上 直 人
委 員 久 野 友 士
委 員 石 川 真理子
委 員 木 村 敏 幸
委 員 堀ノ口 香 織

4 欠席委員 なし

5 委員以外の出席者 なし

6 説明のため出席した者
教育部長 小 島 久 和
教育委員会次長兼スポーツ課長 鈴 木 俊 毅
芸術劇場館長兼芸術総監督 安 江 正 也
学校教育課長 桜 井 正 志
学校教育課統括主幹 加 古 尚 毅
学校教育課主任指導主事 明 壁 啓 純
学校教育課指導主事 池 田 森太郎
学校教育課指導主事 高 橋 民 子
学校教育課指導主事 加 藤 雅 尚
教員研修センター所長 和 田 英 也
教員研修センター指導主事 是 枝 享 子
学校給食センター所長 正 城 彰 一
社会教育課長 永 井 伸 明
社会教育課統括主幹 佐々木 三千代
新創造交流施設建設室長 栗 原 知 里
中央図書館長 内 山 香 織
芸術劇場管理課長 中 島 達 也
文化芸術課長 阿 部 吉 晋

7 会議書記
学校教育課主任 岡 田 直 美

8 議事日程 別紙日程のとおり

9 傍聴人

な し

10 協議概要

教育長（鈴木 俊二）

ただいまから、令和6年第10回東海市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の議事日程については、あらかじめ配付いたしました日程表のとおり進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

これより会議に入ります。

教育長（鈴木 俊二）

日程第1、「前回議事録の承認」を議題といたします。

令和6年第9回定例会の議事録についてお諮りいたします。

本案については、承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声）

教育長（鈴木 俊二）

御異議なしと認めます。よって、「前回議事録の承認」については、承認されました。

教育長（鈴木 俊二）

日程第2、「報告」を議題といたします。

教育長（鈴木 俊二）

報告のある委員はいらっしゃいますか。

教育長（鈴木 俊二）

ないようですから、これをもって「報告」を終わります。

教育長（鈴木 俊二）

日程第3、「その他の報告事項」を議題とします。

(1)から(5)について、担当課長等から順に報告を求めます。

学校教育課指導主事、学校給食センター所長、社会教育課長、教育委員会次長兼スポーツ課長

（資料に基づき説明した）

教育長（鈴木 俊二）

これより質疑に入ります。質疑の発言を許します。

2 番委員（久野 友士）

令和 6 年度（2024 年度）東海市「防災学習の日」の実施について、横須賀小学校はライフジャケットを着用した訓練は別日で実施するのか。

学校教育課指導主事（高橋 民子）

横須賀小学校については、11 月 5 日にはライフジャケットを着用した訓練は行っておらず、別日で実施予定です。

5 番委員（堀ノ口 香織）

令和 6 年度（2024 年度）青空教室の結果について、対象者数何名のうち 15 名の参加か。

学校教育課指導主事（高橋 民子）

教育支援センターほっと東海の入級者 15 名が参加しましたが、入級者自体はその時点で 35 名程度でございました。

4 番委員（木村 敏幸）

令和 6 年度（2024 年度）青空教室の結果について、当初参加予定だったが、不参加となった児童生徒はいるか。また、体調不良により当日欠席となったボランティアの方がいたと聞いたが、参加後の子ども達の様子はどのようなか。

学校教育課指導主事（高橋 民子）

参加児童生徒につきましては、当初 16 名の申し込みがあり、そのうち 1 名の事前キャンセルがあり 15 名の参加となりました。ボランティアにつきましては、当初 10 名の申し込みがありましたが、前日の発熱により 1 名欠席となりました。また、最終日に大学生ボランティアが熱中症の症状が出たため対応しました。

参加後の児童生徒の様子は、この青空教室をきっかけに元気になり学校へ足を運ぶことができた児童生徒や、ほっと東海上野公民館教室でなかなか保護者と離れることが難しい児童がいたが、離れる時間が増えたと聞いております。

教育長（鈴木 俊二）

他にないようですから、これをもって質疑を終わります。

教育長（鈴木 俊二）

続いて、(6)から(10)について、担当課長等から順に報告を求めます。

中央図書館長、文化芸術課長、学校教育課長、学校教育課統括主幹、教育委員会次長兼スポーツ課長

（資料に基づき説明した）

教育長（鈴木 俊二）

これより質疑に入ります。質疑の発言を許します。

1 番委員（村上 直人）

通学路安全推進会について、対策実施予定 33 件の実施予定時期はどのようなか。

学校教育課長（桜井 正志）

対策実施予定 33 件のうち、今年度中に実施できるものは今年度中に実施します。予算が限られている中で実施するため、来年度に実施予定のものもあると報告を受けています。

3 番委員（石川 真理子）

通学路安全推進会について、対策不可はどのようなケースか。

学校教育課長（桜井 正志）

例えば、子ども達が足を踏み外す心配があるため側溝に蓋をしてほしいという希望に対して、蓋をしてしまうと路上駐車が増え、より危険になると考えられるケースや、道路の幅が狭いことにより路側帯を設けることができないなど各部署の取り決めにより対策が難しいケースなどです。

4 番委員（木村 敏幸）

令和 6 年度（2024 年度）東海市読書感想文コンクールについて、一般の部の応募作品数が大幅に減少しているが、来年度以降の募集方法はどのようなか。

中央図書館長（内山 香織）

一般の部の応募作品数が大幅に減少した大きな要因は、東海樟風高等学校が読書感想文コンクールの課題を止めたことによるものです。応募者数 4 人の内訳については、一般が 1 人、高校生が 3 人で、東海樟風高等学校の生徒の応募者数を除くと例年と同数くらいになります。来年度以降の作品募集方法については、新しい周知の方法は未定ではありますが、LINE などのツールを使用するなど、より子ども達の目に届くよう検討していきたいと考えております。

2 番委員（久野 友士）

通学路安全推進会について、対策不可の 16 件については、通学路を変更するまでもなく、安全に注意して登下校をする認識でよいのか。

学校教育課長（桜井 正志）

通学路は各学校で決めており、場合によっては変更を余儀なくさせることもありますが、現時点では対策不可のために通学路を変更することはなく、安全に注意しながら登下校していただくことになっております。

3 番委員（石川 真理子）

令和 6 年度（2024 年度）東海市読書感想文コンクールについて、AI に書かせることが懸念されていたが、応募作品の中ではどのようなか。

中央図書館長（内山 香織）

応募作品の審査は学校の図書館部会で行っており、先生方は日頃の子ども達の様子をよく把握しているため、保護者などに手伝ってもらった可能性を感じられる作品もあるとは聞きますが、A I の活用までは聞いておりません。

教育長（鈴木 俊二）

他にないようですから、これをもって質疑を終わります。

教育長（鈴木 俊二）

(II)のその他について、何かありますか。

教育長（鈴木 俊二）

ないようですから、これをもって終わります。

以上で「その他の報告事項」を終わります。

教育長（鈴木 俊二）

以上をもって、今回定例会に付議された案件の審議は全て終了いたしました。

これをもって、令和6年第10回東海市教育委員会定例会を閉会いたします。